

自動運転・ロボット技術の進歩と電波政策

－ 電波有効利用促進セミナーを開催 －



総務省総合通信基盤局
電波部長 渡辺 克也



金沢大学 理工研究域 機械工学系
准教授 菅沼 直樹 氏



株式会社小松製作所 執行役員
スマートコンストラクション
推進本部
本部長 四家 千佳史 氏

北陸総合通信局（局長 星 克明）は、平成28年6月7日、金沢市内の金沢東急ホテルにおいて、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）との共催により、「電波有効利用促進セミナー」を約90名の参加を得て開催しました。

少子高齢化による地域交通の問題や建設現場等の人手不足解消に向けた産学官の取組の中で、近年、自動運転・ロボット技術の進歩が注目されるとともに自動運転やロボットの電波利用の高度化の検討が進められています。

今回のセミナーでは、産学官における最先端の取組の現状と将来について御講演いただきました。

まず、総務省総合通信基盤局の渡辺克也電波部長が、「電波政策2020」と題して「第5世代移動通信システム（5G）」や自動走行等の「次世代ITS」の早期実現に向けた国内外の取組、ロボット（ドローン等）の電波利用の高度化に向けた取組など、電波政策の最新動向について紹介しました。

次に、金沢大学 理工研究域 機械工学系 菅沼直樹准教授から、「珠洲市における自動運転自動車の実証実験の概要とその成果」と題して、ミリ波レーダーやレーザー等のセンサー技術・コンピュータの高性能化、高精度地図の活用等により、自動運転技術の完成度は9割に達していること等、公道での実証試験の動画を交えて分かりやすく解説していただきました。

最後に、株式会社小松製作所 執行役員 スマートコンストラクション推進本部の四家千佳史本部長から、「コマツが描く顧客と共に創る建設現場の未来」と題して、ICT建機による効率化、ドローンで測量した3次元図面の活用、建設現場以外の前後の行程を含む課題解決サービスの取り組みなど、ビデオ上映を交えて分かりやすく解説していただきました。

セミナー参加者は、ICTを活用した自動運転・ロボット技術の最新事例等について、興味深く熱心に聴講していました。



セミナー会場



金沢大学の自律型自動運転自動車



ICT建機が活躍する工事現場

お問い合わせ先：無線通信部企画調整課 076-233-4470